

太陽光植物工場の 今後5~10年間の展望 2018

先端技術セミナー

平成30年
2月12日(月)
13:00~18:30
資料代1,000円
入場無料

定員100名

■主催: 日本施設園芸協会

愛媛大学植物工場研究センター

■後援: 愛媛大学植物工場研究センター(事務局)、日本生物環境工学会 生物生体計測部会・施設生産システム部会・四国支部、ai tomato(農林水産省 人工知能未来農業創造プロジェクト)

■場所: 愛媛大学農学部 大会議室
(愛媛県松山市樽味3-5-7)

■開催趣旨:

太陽光植物工場は、先端的農業技術とICT・自動化技術・機械化技術等の先端的工業技術を融合した生産効率の最大化を目指した様々な取り組みが続けられている。特に近年、企業化・大規模化の流れが進んでおり、5~10年後のわが国の施設生産の代表的な形態として確立されつつある。一方で、その運営管理のマニュアル化が喫緊の課題となっている。本セミナーでは、企業的で大規模な太陽光植物工場の展望とそこで求められる技術について紹介する。

■次第

司会: 高橋憲子
(愛媛大学大学院農学研究科 講師)

13:00 開会

“支援技術の展望”

13:10 「太陽光植物工場における
植物生体情報をベースにしたAI活用の展望」
高山弘太郎(愛媛大学大学院農学研究科 教授)

13:40 「大規模施設園芸・植物工場 導入・改善の手引き」
土屋 和(日本施設園芸協会 技術部長)

“太陽光植物工場の技術展望”

14:10 「JA全農における先端的施設生産技術の展開」
吉田征司(全国農業協同組合連合会 主管)

14:50-15:10(休憩)

15:10 「井関モデル植物工場の活用と展開」
手塚達也(井関農機株)

15:50 「バイオインベーションセンター倉敷ラボの研究開発」
小西充洋(ヤンマー(株)中央研究所バイオインベーションセンター倉敷ラボ 所長)

16:30 閉会(~18:30 施設見学)



愛媛大学農学部 大会議室

(愛媛県松山市樽味3-5-7)

駐車可能数はわずかですので公共交通機関をお使い下さい。

【松山市駅から】

◆伊予鉄バス 8番線「愛大農学部前」下車

■参加申込・お問合せ先

◆参加申込 HP: <https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~sympo1/mpmailec/form.cgi>

◆問い合わせ: 高橋(事務担当 岩井)(愛媛大学農学部・植物工場研究センター) E-mail: zinzai@agr.ehime-u.ac.jp